

キャラクター名
才崎 薫

プレイヤー名

シンドローム	バロール		ワークス	フリーター	カヴァー	盲目の放浪者
	バロール					
オプション			年齢	?歳(見た目20代前後)	性別	女
覚醒	死	衝動	憎悪		初期侵食率	36%
出自	天涯孤独	経験	登録抹消		邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	1	0			1	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	0	1			5	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	6		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	3	
運転:	2		芸術:			知識:料理	2		情報:ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:情報屋	
コネ:手配師	
コネ:親父さん	
メモリー:スラムの子供達	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
D・屍人	P	N		
黒土先生	P 感服	N 不安		
GPO隊員	P 遊び心	N 無関心		
ラジー	P	N		
春崎 忍	P	N		
戦屋 一矢	P 同情	N 隔意		
スカベンジャー	P 有為	N 憐憫		

最大財産P: 10 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
死神の瞳	7	3	Xジャー	視界	単体	対決	-	
効果: <RC>/命中/次に受ける攻撃のダメージを+ [LV+2] D								
コンセプト:バロール	3	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: シンドローム/CR値-LV								
因果歪曲	2	3	Xジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果: シンドローム/対象:範囲(選択)に変更する。								
魔神の心臓	5	4	Xジャー	-	-	対決	100↑	
効果: シンドローム/命中/そのラウンドの間、判定ダイス- [LV×3]								
黒星の門	5	2	Xジャー	-	-	-	ピュア	
効果: シンドローム/判定ダイス+ [LV+1] 個。「あなたと同じエンゲージにいるキャラクターを対象にできない」と記載されたエフェクトでも、同じエンゲージに対して使用できる。								
悪魔の影	1	5	Xジャー	視界	単体	対決	80↑	
効果: <RC>/命中/リアクション不可								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: 相手が判定を行う直前に使用。その判定を失敗にする。								
魔王の玉座	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 宙に浮く事ができる。								
ポケット次元ジヨソ	★	-	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: 空間をねじ曲げてあり得ない空間を作り出す。								
偏差把握	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 重力の偏差を把握することで、周囲の物体の位置やその移動ベクトルを知覚できる。								
次元ジヨソゲート	★	3	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: どこでもドア。っていうかこれ、コスト3かかるんだなあ								
刻の魔術師	★	-	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: 周囲の時間の流れを操作する。								
効果:								

初期作成点: 130点+30点+4点(イージーなどキャラ付け用)(フルスクラッチ)
 ステージ: デモンズシティ
 ライフパス: 基本ルルプ(経験表のみデモンズシティ)

盲目の放浪者。
 偏差把握で見えてはいるが、杖も持っている。杖は視覚障害者用の白杖ではなく、太い杖を杖代わりにしている。
 外出の際は日傘を必ず差す。
 「今が楽しければそれでいい」と笑う屍人。
 いつも楽しそうに笑っている。たとえ泣いている子がいても楽しそうに笑っている。
 決して優しい人間ではない。やられたらやり返すくらいのこととする。
 目が見えないため電子機器類がまともに扱えず、また紙に書いてある文字も読めない。(偏差把握でわかるのは『テレビ』や『紙』などの物体まで。金属加工されて浮き上がっている字は読める)
 人の表情と空気は読まない。

一度死んで、オーヴァードとして覚醒した。その時に記憶の一部が吹っ飛んでしまっている。より正確に言うならば、個人情報などの記憶が吹っ飛んでいる。
 現在の状態を死の延長だと感じているため、自分のことは『オーヴァード』ではなく『死に損ない』と呼ぶ。

スラムに匿われていたが、「楽しいこと」を求めて外に出た。現在は立派な放浪者である。
 GPO隊員の人達には近づかないようにスラムの人達に言われていたので、それを守って隠れながら「楽しいこと」を探している。

《成長記録》